

調査結果の概要及び特徴について

みなべ町教育委員会

1. 調査の概要

(1)調査日 令和7年4月17日(木) ※中学校の理科については、令和7年4月16日(水)に実施。

(2)調査の目的

児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることや、さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立する。

(3)調査内容

- ① 教科に関する調査 小学校:国語、算数、理科
中学校:国語、数学、理科

【中学校理科について】

・IRTに基づく「CBT」で実施。1 ※IRT:Item Response Theory(項目反応理論)
生徒の正答・誤答が、問題の特性(難易度、測定精度)によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論のこと。言い換えると、テストの点数を、ただ「正答数」で判断するのではなく、「どんな問題に正解したか」で判断する方法となります。
※CBT:Computer-based Testing(コンピュータ使用型調査)

IRTに基づく調査のイメージ

視力検査を例としたイメージ
※イメージを表すことを目的として作成したため、示された7つのランドルト環の大きさ(難しさ)がAさんとBさんと異なっている。

	素点方式(正答数・正答率)	IRT方式
得点(スコア)の表現方法	何個のランドルト環(C) を見ることができたか	どの大きさのランドルト環(C) を安定的に見ることができたか
得点(スコア)の例	0.1 0.2 0.3 0.4 5問/7問 (正答率71%) Aさん 0.1 0.2 0.3 0.4 4問/7問 (正答率57%) Bさん >	0.1 0.2 0.3 0.4 0.2 Aさん 0.1 0.2 0.3 0.4 0.3 Bさん <
素点方式の場合は、Aさんの方が正答数(見ることができたランドルト環の数)・正答率が高くなります。 IRT方式の場合は、Bさんの方がスコア(視力)が高くなります。		

※出典:文部科学省「令和7年度全国学力・学習状況調査「中学校理科」IRTを用いた結果返却について」(2025)より作成
https://mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/zenkoku/mext_03311.html (2025年8月1日閲覧)

- ② 生活習慣や学習環境等に関する質問調査
- ・児童生徒に対する調査
(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)
 - ・学校に対する調査
(指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査)

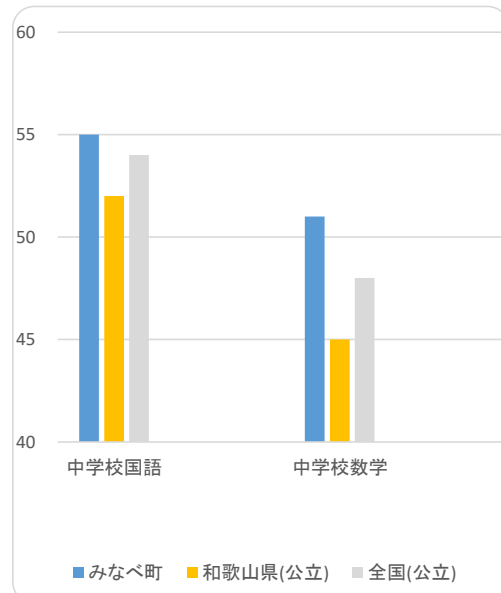
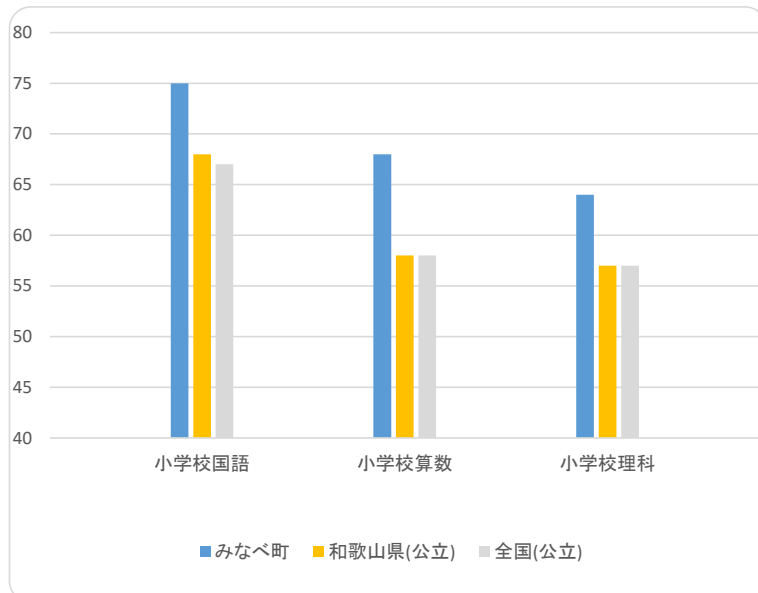
2 教科に関する調査結果について

(1)みなべ町(公立)の平均正答率と和歌山県(公立)及び全国(公立)の平均正答率との比較

【小学校国語、小学校算数、小学校理科、中学校国語、中学校数学】

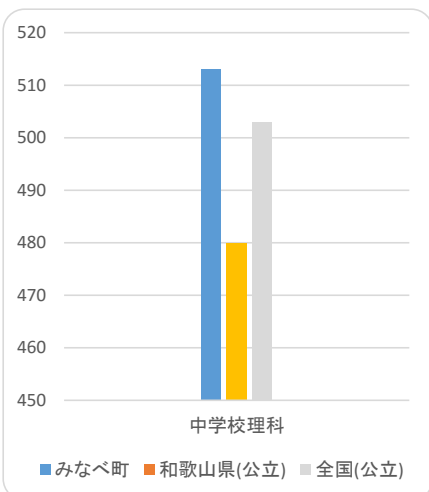
(単位: %)

	小学校国語	小学校算数	小学校理科	中学校国語	中学校数学
みなべ町	75	68	64	55	51
和歌山県(公立)	68	58	57	52	45
全国(公立)	67	58	57	54	48



(2)中学校理科におけるみなべ町(公立)の平均IRTスコアと和歌山県(公立)及び全国(公立)の平均IRTスコアとの比較

	中学校理科
みなべ町	513
和歌山県(公立)	480
全国(公立)	503



【平均IRTスコア】

下記の問題の解答状況(正誤パターン)から学力を推定し、500を基準にした得点で表したものの。

【問題構成について】

・合計問題数は 26問 です。

公開問題 10問 … 全日程に共通する問題 6問
実施日により異なる問題 4問

非公開問題 16問 … 幅広い内容・難易度等から出題され、生徒ごとに異なる問題を解いている。

3 教科の概要について ※()内は、問題番号

◇ … 「できている」と考えられるもの

◆ … 「課題がある」と考えられるもの

【表上、記号の見方】

◎: 全国平均に比べ5ポイント以上高い

○: 全国平均に比べ3～5ポイント高い

—: 全国平均との差が3ポイント未満

▽: 全国平均に比べ3～5ポイント低い

▼: 全国平均に比べ5ポイント以上低い

【小学校国語】

◇図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題がよくできていました。(2二)

◇時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える問題がよくできていました。(3二(2))

◆話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題がみられました。(1三(2))

◆目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題がみられました。(3三(1))

学習指導要領の内容別平均正答率		
知識及び技能	話すこと・聞くこと	◎
	書くこと	◎
	読むこと	◎
思考力、判断力、表現力等	言葉の特徴や使い方に関する事項	◎
	情報の扱い方に関する事項	◎
	我が国の言語文化に関する事項	○

【中学校国語】

◇目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする問題がよくできていました。(1二)

◇文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉える問題ができていました。(3二)

◆自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題がみられました。(1四)

◆資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することに課題がみられました。(2四)

◆文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることに課題がみられました。(3四)

学習指導要領の内容別平均正答率		
知識及び技能	話すこと・聞くこと	—
	書くこと	—
	読むこと	—
思考力、判断力、表現力等	言葉の特徴や使い方に関する事項	○
	情報の扱い方に関する事項	
	我が国の言語文化に関する事項	

【小学校算数】

◇角の大きさについて理解しているかどうかをみる問題がよくできていました。(2(3))

◇伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだす問題がよくできていました。(4(1))

◆分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述することに課題がみられました。(3(2))

◆「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことに課題がみられました。(4(4))

学習指導要領の領域別平均正答率	
A 数と計算	◎
B 図形	◎
C 測定	◎
C 変化と対応	◎
D データの活用	◎

【中学校数学】

◇必ず起こる事柄の確率について理解しているかどうかをみる問題ができていました。(7(1))

◇事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができていました。(8(1))

◆素数の意味を理解しているかどうかをみる問題に課題がみられました。(1)

◆式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することに課題がみられました。(6(2))

◆事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明するおとに課題がみられました。(8(2))

学習指導要領の領域別平均正答率	
A 数と式	○
B 図形	—
C 関数	◎
D データの活用	—

【小学校理科】

◇赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができていました。(1(1))

◇電流がつくる磁力について、電磁石の強さは、巻数によって変わることの知識が身についているかどうかをみる問題ができていました。(2(3))

◆身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引きつけられる物があることの知識が身についているかどうかをみる問題に課題がみられました。(2(1))

◆レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することに課題がみられました。(3(4))

学習指導要領の区分・領域別平均正答率		
A区分	「エネルギー」を柱とする領域	◎
	「粒子」を柱とする領域	○
B区分	「生命」を柱とする領域	◎
	「地球」を柱とする領域	○

【中学校理科】 ※公開問題10問において分析

◇科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現することができていました。(1(6))

◇身近な電化製品の電気回路について探究する学習場面において、回路に抵抗がついている理由を問うことで、抵抗に関する知識が概念として身についているかどうかをみる問題ができていました。(3(2))

◆露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈する問題で課題がみられました。(1(3))

◆水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念としてみについているかどうかをみる問題で課題がみられました。(1(4))

学習指導要領の区分・領域別平均正答率		
A区分	「エネルギー」を柱とする領域	○
	「粒子」を柱とする領域	—
B区分	「生命」を柱とする領域	—
	「地球」を柱とする領域	▽

※公開問題全体における正答率を平均した値。

4 児童生徒質問調査に関する結果について

(全国と比べ特徴的な結果の出ている質問について紹介します。)

(1) 将来の夢や目標を持っていますか。

肯定的な回答について、小学校では全国を下回り、中学校では全国を上回りました。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
あてはまる	53.8	60.7	-6.9	34.8	35.5	-0.7
どちらかといえばあてはまる	25.6	22.4	3.2	38.2	32.0	6.2
計	79.4	83.1	-3.7	73.0	67.5	5.5

(単位: %)

(2) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

- ・「3時間以上」では、小学校で全国を下回り、中学校で全国を上回りました。
- ・「1時間以上、2時間未満」では、小学校で全国と同様で、中学校で全国を下回りました。
- ・「全くしない」では、小学校で全国を上回り、中学校で全国と同様でした。
- ・「0分(全くしない)以上、1時間未満」の累計をみると、小学校・中学校ともに全国を上回りました。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
3時間～	5.1	12.1	-7.0	11.2	9.9	1.3
2時間～3時間	12.8	12.8	0	25.8	20.9	4.9
1時間～2時間	30.8	29.1	1.7	19.1	30.8	-11.7
30分～1時間	29.5	27.4	2.1	21.3	19.1	2.2
～30分	9.0	12.9	-3.9	13.5	11.3	2.2
全くしない	12.8	5.7	7.1	7.9	7.7	0.2
全くしない～1時間(累計)	51.3	46.0	5.3	42.7	38.1	4.6

(単位: %)

(3) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

- ・「2時間」以上の割合について、小学校では全国を上回り、中学校では全国を下回りました。
- ・「0分(全くしない)以上、1時間未満」の累計をみると、小学校・中学校ともに全国を上回りました。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
4時間～	9.0	7.4	1.6	1.1	5.3	-4.2
3時間～4時間	7.7	4.4	3.3	3.4	8.5	-5.1
2時間～3時間	6.4	9.7	-3.3	9.0	18.7	-9.7
1時間～2時間	21.8	25.6	-3.8	20.2	25.4	-5.2
～1時間	30.8	35.2	-4.4	43.8	24.1	19.7
全くしない	24.4	17.5	6.9	19.1	15.4	3.7
全くしない～1時間(累計)	55.2	52.7	2.5	62.9	39.5	23.4

(単位: %)

(4) 勉強は好きですか。 ※「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を回答した割合

- ・小学校、中学校ともに、「国語」で全国を下回っています。
- ・小学校「算数」で全国を上回っていますが、中学校「数学」で全国を下回っています。
- ・小学校、中学校ともに、「理科」で全国を上回りました。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
国語	38.4	58.3	-19.9	41.6	57.9	-16.3
算数・数学	61.6	57.9	3.7	52.8	53.8	-1.0
理科	82.1	80.1	2.0	66.3	63.8	2.5

(単位: %)

(5) ICT機器に関する技能について

肯定的な回答について、④の質問においては、小学校で全国を上回っていますが、中学校では全国を下回っています。また、①、②、③の質問においては、小学校、中学校ともに全国を下回りました。

- ①あなたは、自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができると思いますか。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
とてもそう思う	29.5	39.3	-9.8	9.0	36.4	-27.4
そう思う	47.4	42.5	4.9	67.4	47.2	20.2
累計	76.9	81.8	-4.9	76.4	83.6	-7.2

(単位: %)

- ②あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができると思いますか。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
とてもそう思う	39.7	50.6	-10.9	33.7	48.4	-14.7
そう思う	41.0	39.2	1.8	53.9	43.1	10.8
累計	80.7	89.8	-9.1	87.6	91.5	-3.9

(単位: %)

- ③あなたは自分のPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
とてもそう思う	12.8	26.9	-14.1	3.4	21.1	-17.7
そう思う	46.2	42.4	3.8	50.6	42.2	8.4
累計	59.0	69.3	-10.3	54.0	63.3	-9.3

(単位: %)

- ④あなたは自分のPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができますか。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
とてもそう思う	37.2	38.6	-1.4	13.5	31.8	-18.3
そう思う	44.9	38.1	6.8	61.8	44.8	17.0
累計	82.1	76.7	5.4	75.3	76.6	-1.3

(単位: %)

みなべ町の学力状況は、小学校、中学校ともに全国平均を上回っています。日々の子どもたちの学習の成果がしっかりと表れた結果となりました。しかしながら、本調査は子どもたちの一部の力を測ったに過ぎません。子どもたちの今後の更なる成長を期待しているところです。

一方で、調査を細かくみていくと、課題は少なくありません。児童生徒質問調査においては、授業以外の学習時間（自主学習等）が全国と比べ大きく下回っていることや、ICT機器に関する技能についても同様のことが言えます。

各学校においては、本調査結果を分析し、子どもたちが個々の課題を克服していけるよう、また、さらに力を伸ばしていけるよう、授業研究・授業改善により一層取り組んでいきます。その中で、今求められる「個別最適な学び」の実現に向けて、一人一台端末を活用させたり、子どもたちが主体的に学習する機会を設けたりするなどの取組も推進させていきます。

変化の激しい社会の中で、これから子どもたちに求められる資質・能力は様々で、学力に加え、コミュニケーション能力・情報モラル・情報リテラシー等、いろいろとあります。また、多様性を認め合ったり、高め合ったりする社会性・人間性・道徳性等などの力も求められています。これら以外にも、自己肯定感や粘り強さなどの「非認知能力」なども挙げられます。

今後も引き続き、子どもたちが「自ら」学んでいこうとする姿勢や求められる資質・能力を身につけられるよう、学校教育の充実を図っていきます。そして、未来の自分の姿を描き、そこに向かってたくましく成長できるように、一人ひとりが輝く学校づくりを進めてまいります。

保護者、地域の皆様におかれましても、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。